

【様式1-1】

十島村 橋梁長寿命化修繕計画

平成27年2月

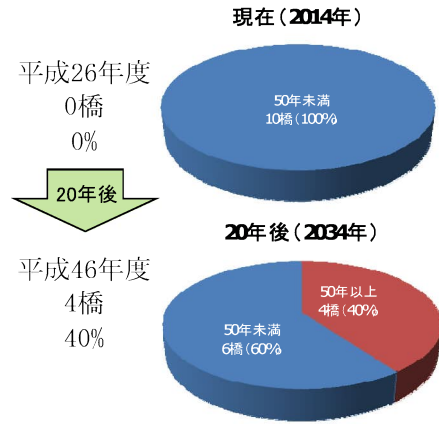
鹿 児 島 県 十 島 村

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本村が管理する橋梁は、平成26年度現在で10橋架設されている。(中之島 9橋、諏訪之瀬島 1橋)
このうち、建設後50年を経過する橋梁は、現時点では0橋であるが、20年後の平成46年には、40%に増加する。

これらの高齢化が進む橋梁に対して、従来の事後的な維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が膨大となり、多大な財政負担となることが予想される。



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の『事後保全型』から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”『予防保全型』へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本村では、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、10年ごとに計画の見直しも実施しながら、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性を確保することを目的とする。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	村道 1級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	5	5	10
うち計画の対象橋梁数	5	5	10
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0
うち平成26年度計画策定橋梁数	5	5	10

長寿命化修繕計画の対象 十島村が管理する全ての橋梁

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

日常的な維持管理、5年ごとに行う定期点検によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

土砂除去等の清掃、パトロール車による点検により、日常的に維持管理を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

高齢化が進む橋梁に対して、従来の事後的な維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が膨大となり、多大な財政負担となることが予想される。したがって、計画的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

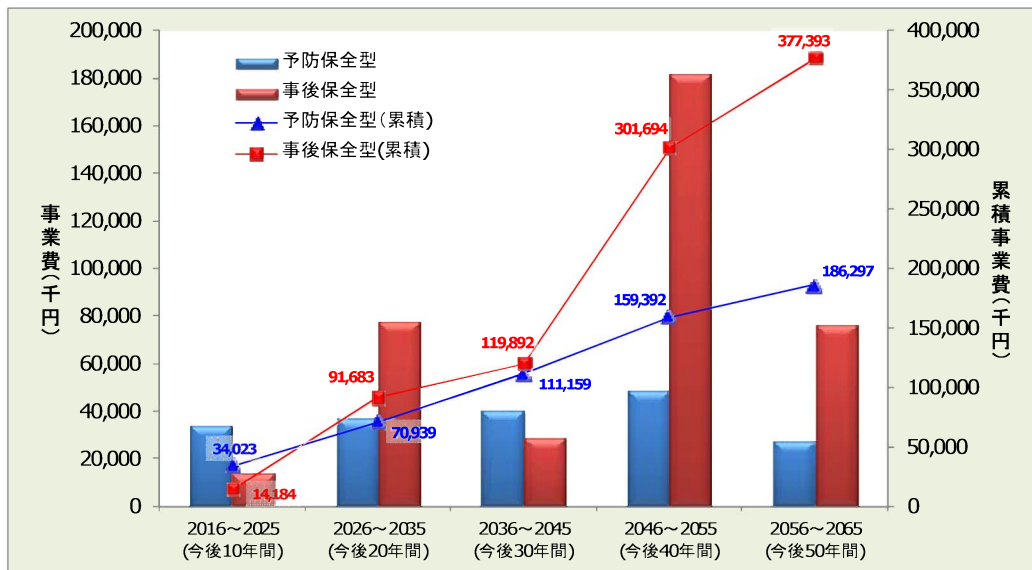
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式 1-2 による

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する10橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が約3.8億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が約1.9億円となり、コスト縮減効果は約1.9億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

十島村役場 土木交通課 tel : 099-222-2101

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

鹿児島大学大学院 武若 耕司 教授

鹿児島大学大学院 山口 明伸 教授

